

新しい学校、新しい図書館、 新しい本との出会い、ぜひ図書館へ



こんにちは、図書委員長になった日隈広裕です。新設校になり、まだ図書館に来る人が少ないようです。図書委員一同、もっと皆さんに利用して欲しいと思っています。図書館は利用の仕方によっては幅広い分野での利用が可能です。3年生は進学、就職の試験に出てくる小論文や面接に向けてのネタ探しに、1、2年は授業で習ったところを復習しに来るもよし、ついでに本を借りて知識を蓄えるもよし。自分の将来に役立つものが絶対にあります。是非ご来館を。

今年度の図書委員メンバーと係分担を紹介します。

●カウンター係 当番表

	昼休み		放課後	
月曜	3-4 高倉 健太	3-4 穴井淳之介	2-4 麻生 龍二	3-6 日隈 広裕
火曜	1-2 宮川 真歩	1-2 宮崎 愛泉	1-1 後藤 直樹	1-4 櫻木 陽人
水曜	3-5 佐藤聡一郎	1-4 木下 大輔	2-2 高橋 一希	1-3 日隈 亜美
木曜	1-3 高倉 菜那	3-6 阿南 聡馬	3-2 武石 藍良	3-2 梶原 大
金曜	3-3 黒田さとみ	3-3 竹尾さやか	2-3 三木 愛香	2-3 高木 茉耶

●図書館報係（図書館だより担当）

3-1 鬼塚 直子	2-1 後藤くるみ	2-2 小西 崇史	1-1 日野 佑飛
3-1 日野 遥香	2-1 日野あずさ	2-4 松方 伸里	

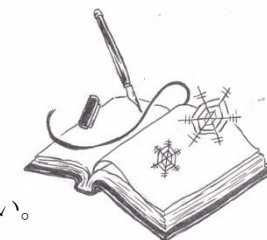
『Biblioteca.』とは、イタリア語で『図書館』という意味です。図書館だよりで皆さんの情報を提供して、本との出会いを応援いたしますので、よろしくお願ひします。

(図書館報係一同)

図書委員おすすめ本

図書委員によるオススメの本の紹介コーナーです。

図書館にある本ばかりなので、気軽に手に取ってみてください。



92



『図書館戦争』 有川浩著

「図書館の自由が侵される時、我々は団結して、あくまで自由を守る。」図書館の自由に関する宣言を基に結成された図書隊。図書隊の仕事は過度な検閲から本を守ることだ。主人公の笠原都は高校生(角川書店)の時に、検閲で本をとられそうになり、図書隊員に守ってもらったことがきっかけで図書隊員になった。いろいろな苦難を乗り越え、迎えるクライマックスとは…。とてもおもしろく、映画化もされています。(2-1 後藤)

『冷たい校舎の時は止まる』 辻村深月著

雪が降るある日のこと。突然学校の中に閉じ込められる8人の高校生。誰もいない校舎内、窓も扉も開かず、5時53分で止まった時計。そして8人は思い出していく。2ヶ月前、学園祭の最中に死んでしまった同級生のことを…。なぜ私たちを閉じ込めたのか。疑問ばかりだが、徐々に真相が明らかになっていく。ついついのめり込んでしまい、切なくなる冬のお話です。ぜひ読んでみてください。(2-4 松方)



(講談社)



『ストーリーセラー』 佐藤友哉他著

私がオススメする本は、ストーリーセラーという短編集です。7人の作家の書く話の中でも特に、佐藤友哉著の「333のテッペン」が印象に残りました。東京タワーのテッペンで起きた殺人事件の謎に、しがたないアルバイトの土江田と、胡散臭い探偵の松葉が迫ります。その掛け合いのテンポがよく、思わず笑ってしまう作品です。

(2-1 日野)

